

第6章 事業を支援する運営指導委員会等の報告

令和4年度も1～3年生の総合的な探究の時間（三高地域プロジェクト）やワクワク未来考場を担う地球探究同好会の事業を円滑に進めるために、本校ではコンソーシアムの方や地域協働支援員・カリキュラムマネジャー・運営委員の人々などと多数の会議を行った。おかげでたくさんの方の事業を有意義に進めることができた。以下に会議等について記録を掲載する。

6-1 第1回 運営指導委員会

- ① 日時 令和4年6月28日（火）14：15～16：00
- ② 場所 福井県立三国高等学校 会議室
- ③ 出席者 日本大学教授 松田 淑子 氏 福井大学監事 峠岡 伸行 氏
坂井市教育長 林 晃司 氏
高校教育課参事 大正 公丹子 氏 同主任 千葉 晴信 氏
同主任 板倉 孝司 氏 県コーディネーター 上山 康一郎 氏
三国高校校長 富澤 宏二 教頭 諸江 克昭
事務局 村 昭信 事務局 金崎 肇
事務局 堀 裕樹 事務局 大岡幹生
事務局 池越 広 坂井市コーディネーター 浜田 剛

④ 進行

- (1) あいさつ
三国高等学校長
教育庁参事（高校教育）
- (2) 出席者紹介
- (3) 事業説明
- ① 本事業の研究概要について
- ② 実践校の取組みについて（三国高校）
- (a) 総合的な探究の時間（1年、2年、3年）
- (b) 学校設定科目
- (c) 地域探究同好会
- (4) 各委員より指導・助言、意見交換

【富澤校長挨拶】

地域と協働による高等学校教育推進事業の指定を受けて3年目になる。地域とともにある学校として、地域にある資源を活用し、探究的な活動に取り組んできた。本日見ていただいた1年生の総合的な探究の時間、並びに2，3年生の総合、三国地域学の学習活動、地域探究同好会の活動など、本校の取組みについて運営指導委員の先生方にご助言いただければと思う。

【大正参事挨拶】

令和2年度より指定を受け、地域と協働し、地域の資源を活用して実践的な探究活動に取り組んでいると聞いている。各学年の総合的な探究の時間に加え、昨年度からは三国の文化資源

探究が始まり、様々な分野に関して三国について学んでいる。また、本年度より環境資源探究も始まり、1年生からの活動に加え、今まで以上に地域において体験・実験に取り組むこととなる。このような学習を通して、生徒たちがどのように変容するのか研究成果を期待したい。本日の運営委員の先生方の意見を参考に、課題解決をしつつ最終年度の活動を充実させて欲しい。

【本時の活動の説明】

池越:空き家活動に向けて本日まで3段階の手順を経た。まずは外部の講師の方の講演を聞き、町歩きでは地域の方の話を聞いた。そして、本日の授業では先輩の話を聞いた。ここまでは聞いて考える活動であり、2学期からは自分たちで考える活動に進む。グループ単位、クラス単位で考え、実践に持って行く。本日の2年生の発表だが、稚拙な感じを受けたかも知れないが、時間のない中、準備を行いよくやってくれたと思う。

【各委員より指導・助言、意見交換】

松田氏

大変よい活動であった。ただ、いくつかの班だけが発表するのはもったいない感じがした。自分たちの活動についてレポートを書くだけでなく、大事なのは、クラスで自分たちが行ったあのすばらしい活動を振り返って発信し、自分たちのやったことの価値を確認すべきである。

峠岡氏

活動を見ていて気になったのは、質問があまり出なかったことで、1年生は下調べをし、質問の準備はしておくべきだった。このイベントの主題の効果測定はできていたのか。例えば「三国のことを知ってもらいたい」という主題で「知ってもらえた」というのはどう測るのか。このイベントの成果をどういう観点で測るのか明確にすべきである。活動後の反省のところで先生方が突っ込んであげて、それによって生徒たちが足りない部分を知る機会を得られる。空き家活動における主題について足りていない部分が指摘されていなかったのが残念だった。

林氏

三国高校はこのプロジェクトを通じてどんな生徒を育てたいのか、プレゼンターとしてどんな力をつけさせたいのか、突き詰めていったら生徒の活動も変わっていくのではないかと感じた。聞いている1年生については、メモを取る項目は共通だったが、項目を自分たちから選び取ってくる形でもよかった。質問が出るプレゼンの仕方もあったのではないかと。

【各担当からの説明】

堀（2年生の取り組みについて）

坂井市への提言活動（本時はグループで提言を担当・副担任に発表。2学期からはアイデアを元に新たにグループ分けし、坂井市職員に入ってもらい）本年度は提言のミニ実践を行っていききたい。

大岡（3年生の取り組みについて）

今は小論文対策など進路学習を行っている。4月に総合探究の振り返りを行い、それを書か

せている。お互いに読み合って、感想を言い合う。9月に「コミュニティーデザイナー認定」にも利用する、ルーブリックによる自己評価を使い、3年間の振り返りをさせる予定である。

村（2，3年生の文化資源探究について）

2年生は昨年の流れを踏襲しながら、昨年の総括で出てきた課題を解決しながら活動を進めている。事前学習を取り入れ、自分たちが学ぶ内容の予備知識を入れている。3年生については「三国の文化資源 PR 動画」をグループで作成し、11月下旬に発表会を行う予定である。課題は山積しているが、なんとか活動の意義を理解して発表まで持って行きたい。

金崎（2，3年生の環境資源探究について）

理系のⅡ系列の生徒を対象とした科目である。3年生は週2単位、2年生は週1単位となっている。5単元について講義・見学・実習・探究のプログラムで実施し、7～8時間を1サイクルとして進めている。単なる見学で終わらず探究的な発想に持っていけるかが課題である。

【各委員より指導・助言、意見交換】

松田氏：

2年生の活動について、昨年大岡先生が盛り上げ、さらに今年堀先生の方で進化させていく部分が楽しみである。アイデアを実践していくということで、えちぜん鉄道の件では、1つずつ駅を降りてみる体験も実践になるのではないかと。実践力を活動に入れることで大きく進化していくのではないかと思う。また、3年生の活動については、振り返ることが大事で、自己の成長を自覚することにつながり、それをきっかけに探究活動ではさらに難しい問いが出てくる。大学入試の小論文で言えば、探究してきた課題の解決をこの大学でしたいという強いエネルギーがあるか見たい。ルーブリックについてはぜひ進化させていって欲しい。生徒を巻き込んで作っていくとなおよいし、違う学年を同じルーブリックでは測れないので進化させていくべきである。ルーブリックでの自己評価を通じて生徒には自分自身の生き方を未来へと広げて欲しい。

林氏：

このような活動や研修を組織的にやるとなると、先生方が全体として同じベクトルで、同じ方向に向くことは難しいかも知れない。生徒の中にもこういった活動を疑問視する者もいるかも知れないが、先生方が揺るぎない信念を持って行っていけば、必ず生徒たちもついてくると思う。後々、やったことに意義を見いだせるような取り組みを続けて欲しい。

峠岡氏：

生徒たちが何かを探究する際、実体験が伴わないことが多い。提案する前に体験をしてみる。そこで得られたエビデンスが何かを提案する際に必要となる。スーパーでのヒヤリングや観光客のアンケートなど客観的な資料が具体的な提案につながる。大学生もそうだが自分のメディアが限られているのが問題である。

この地域探究活動をどう続けていくのか。生徒の成長をどう把握していくか、それをどう教育の現場にフィードバックしていくかが大事で、学校教育である以上保護者の方にどう理解してもらっても重要である。保護者と一緒にこの取り組みを続けていける仕組みにしていけない

といけない。

【その他のご意見】

浜田：

家族の中で話すようになれば、子どもも三国のことに興味を持つようになる。このような活動が三国高校の生徒にとって、将来、どのように生きてくるのか楽しみである。町外からの生徒も三国で学んだことを自分の地域でどう活かせるのか考えていくこともできる。

上山氏：

他校と比べ、三国高校の取組や発表は劣っていない。いかに生徒が自分事としてやっていけるかが重要である。どのようにそういうふうに行けるかが難しいが、小さなきっかけで、そう思える場面が異なるので、自分で見つけられるとよい。どこかに「あっ」と思えるきっかけがあり、それを信じて取り組んで欲しい。できれば、生徒同士の交流会を設定してみるのも良いかも知れない。

6-2 第2回 運営指導委員会

- ① 日時 令和4年12月13日（火）15：00～16：50
- ② 場所 福井県立三国高等学校 会議室
- ③ 出席者 日本大学教授 松田 淑子 氏 福井大学監事 峠岡 伸行 氏
共愛学園前橋国際大学学長 大森 昭生 氏
坂井市教育長 林 晃司 氏（公務のため欠席）
県教育庁副部長 山崎 良成 氏 高校教育課 板倉 孝司 氏
県コーディネーター 上山 康一郎 氏
三国高校校長 富澤 宏二 教頭 諸江 克昭
事務局 村 昭信 事務局 金崎 肇
事務局 堀 裕樹 事務局 大岡幹生
事務局 池越 広 坂井市コーディネーター 浜田 剛
- ④ 進行
 - (1) あいさつ
三国高等学校長
教育庁副部長（高校教育）
 - (2) 出席者紹介
 - (3) 事業説明
 - ① 本事業の研究概要について
 - ② 実践校の取組みについて（三国高校）
 - (a) 総合的な探究の時間（1年、2年、3年）
 - (b) 学校設定科目
 - (c) 地域探究同好会
 - (4) 各委員より指導・助言、意見交換

【富澤校長挨拶】

探究学習については1つの決まった学習形態があるわけではなく、常に進化し、発展していくものだと考えている。今年度で指定を受けてから3年目を迎え、総合的な探究の時間、学校設定科目、地域探究同好会など、研究成果をまとめられるよう学校を挙げて取り組んできた。本事業での成果と課題をどう捉えるか、得られた資産を来年度からどう継承していくかなど、運営指導委員の先生方に指導・助言をいただきたい。

【山崎副部長挨拶】

地域と協働による探究活動として、県内でも先導的な役割を果たし、三国高校の取組が県内各校の探究的な活動が進展していくきっかけとなってくれればと思う。探究としての深まりはどうか、事業終了後もどのように自走していくか考えていけない。また、地域あつての取り組みであり、坂井市は県内でも高校を積極的に支援して下さる自治体である。今後も高校が坂井市とどのように連携していくかということも大事である。運営指導委員の先生方には成果と課題という観点で助言をいただきたい。

【各担当からの説明】

池越（1年生の取り組み）

本日は、空き家活用プロジェクトの発表会にご参加いただきありがとうございました。例年は空き家についての課題を解決する企画が中心でしたが、今年度はもっと単純に地域の魅力を発信しようというテーマを掲げやってきた。地域の方でも三国について知らない部分もあり、魅力を再発見してもらえた。

堀（2年生の取り組みについて）

坂井市・三国町で感じる問題点を解決するアイデアを考えており、1年次とは違い課題設定の部分から取り組んでいる。1学期は全国の事例について知るインプット活動が中心で、そこから坂井市の問題へと落とし込んで考えている。2学期は具体的な解決策をグループで考え、先日中間発表を行った。今年度はテーマのジャンルを決めずに、生徒たちが純粋に課題だと思ったことをテーマにし、生活に即した問題をテーマにしているグループも見られた。市役所の方にアドバイスをいただきながら、2月中旬に坂井市議会塾で発表を行う予定である。

大岡（3年生の取り組みについて）

4月に振り返り活動として、探究活動も含めた2年間の活動をレポートにまとめた。質問項目は資料の通りで、生徒の記述からこの活動が生徒に大きく影響を与えているし、進路選択にも関わっている。質問項目④についても自分で分析して書いている。昨年度末に作成したルーブリックを利用して令和3年の3月、本年度の11月に自己評価を行った。3、4を選んだ生徒がかなり増えていた。昨年度の3年生と比べても高い数値が出ている。3年生最後の部活動の大会、学校祭にリーダーとして頑張った経験や進路決定について考えた経験、学校設定科目の影響も数値が上がった要因だと考えられる。この結果から、3年間やってきたことの成果が結果に出ていると考えている。

村（2，3年生の文化資源探究について）

2年生は事前学習に焦点を置いて授業計画を行った。文化財見学の前に県の文化財課の方に訪問する際のポイントを教えていただいたり、美術館見学の前に三国の芸術家に詳しい方に講演をしていただいた。生徒たちも実際に見学して多少見方が変わった。3年生は「三国の文化資源PR動画」を作成し、最終発表会を行った。地域の方、大学の先生、県立学校の教員など十数名の方と、文化資源探究を受講している2年生が観覧した。動画のクオリティーが高く、構成等もしっかり練られていた。発表ではさらなる課題も提示し、進学後に各自で解決する手立てを考えていってほしいと思う。

金崎（2，3年生の環境資源探究について）

3年生は地域の各所と連携して、エネルギー、水の浄化、マイクロプラスチック、海洋生物について学んだ。2年生は今、農業分野の学習を福井県立大学と連携して進めている。近くの専門家から地域の課題や地域を題材とした世界的な課題について興味深いお話を聞いている。見学、実習を行い、さらに調べて発表するサイクルで1つの単元を7～10時間で行っている。3年生は1人1テーマで課題研究を始めており、おもしろいテーマも出てきている。また、聞いて質問する態度が養われている。

村（地域探究同好会について）

2学期は三田国際学園中学校との交流、ハッピーハロウィンブース設置、坂井地区探究活動交流会など地域の方、他校の生徒と関わりながらさまざまな活動を行ってきた。今は、企画ごとに3グループに分かれて活動中である。ボランティアだけの会にならないよう、地域貢献しつつ、地域探究の部分も進めていく予定である。今年は坂井市から派遣されているコーディネーターの方の支援もあり、理想の活動に近づけている。町や行政・企業との方とのつなぎ役をしていただいたり、休日にもかかわらずイベント時のお手伝いいただいたりと、地域探究同好会の活動でも教員ではできない部分を補っていただけた。

村（学校内の体制及び学校外体制（コンソーシアム）構築における成果と課題について）

〔成果について〕

- ・地域協働プロジェクト推進室を中心として統一感ある体制を構築できた
- ・各教科が協力して探究型の授業を推進できた
- ・コンソーシアムの各団体と1対1の関係を結ぶことができた。

〔課題について〕

- ・授業内容についてまだまだ主体的に工夫しようという意見が少ない状況である
- ・事業(授業)の目的・目標の共有の機会を十分には取れなかった。
- ・コンソーシアムの各団体同士の横のつながり（連携）が少なかった。

【各委員より指導・助言、意見交換】

松田氏

成果の1，2点目と課題の1，2点目の整合性はどうなっているのか。

村

授業の準備等のハード面での協力は十分にできているが、活動内容の中身を考えるとという点では、担当者任せになり、担当でない先生から主体的に意見が出てくるような状況ではないという意味である。

大森氏

2つ目の各教科の探究の部分だが、書かれていることは相当なことで、できているのは全国でもそうない。課題にある協力体制も目をつぶって良いのではないか。担当者の負担になるが、できる人だけでやるのも一つかも知れない。目指す生徒像の4つの目標を進めて行くにあたって、1つの教科では無理で、どの教科でもやっていかないといけない。スクールポリシーの件についても、成果に挙げて良いのではないか。スクールポリシー、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、グラジュエーションポリシーが策定できたのも1つの成果で、この事業がなかったらできていなかったかも知れない。オリエンテーションでスクールポリシーについて説明しているということだが、生徒が卒業までの目標を知って学びに入っていけるというのは素晴らしい成果である。ただ、まだ十分ではないという認識を持っているのは課題になるのではないか。

峠岡氏

3年間で成長を測るのは難しい。社会に出たときにしか測れない。先生自身の成長がどれだけあったかが次の子どもたちを生み出すために大事である。先生の成長を書いてもいいのではないか。保護者の方に生徒がどのような活動をして、どう成長したか理解してもらうことも大事である。家庭がしっかりしていないと教育はうまくいかない。

松田氏

大岡先生が以前、学年の先生方が授業についてみんな話し合うようになったと言っていたのを思い出して、総合的な探究の時間の3年間で全先生方を巻き込んだモデルケースになっているという面も成果だと思う。

大森氏

コンソーシアムについては、自走するならコントロールできる数にすべき。ポイントになるのは坂井市で、坂井市と共同事務局体制にしてはどうか。三国高校と坂井市が責任を半分ずつ持つことで、坂井市も半分自分の仕事として捉えるのでは。または、1対1の協定形式もいいのではないか。

校長

坂井市には何回か足を運んでおり、生徒のやっていることが坂井市と連携したもので外部にもアピールできると予算を付けやすくなりサポートできると言われた。今後、外部の力を借りながら教育活動を進めていかないといけないと考えている。教科横断型については、例えば文化資源探究を担当する先生が国・社・英・家・芸の5名で授業内容によって各教科の色を出して計画しているということを伝えたかった。

堀

環境資源探究は内容的にはどうしても理科系になるが、理系科目の教員として大学の研究に近い学びにしていくことを進め、理系の大学に進学しても使えるような考え方を身に付けさせようとしている。

校長

堀先生はタブレットを使った授業を展開し、数学科の中でも探究的な学びを進めている。各教科の中にも少しずつ探究型の授業が展開されつつある。池越先生も国語科で ICT を利用して生徒に考えさせる授業を行っている。

松田氏

理系は仮説検証型で研究を進めていくのがスタイルになっているが、場合によっては実験検証型の研究だけでなく社会のあり方にも目を向けていく探究という視点も必要があるので、環境資源探究と文化資源探究がコラボできるようになるといいのではないかな。

大森氏

先程の環境資源探究と関連して、環境資源探究は坂井市が持続可能な地域という観点から切り離されていない。GX (green transformation) という考え方が求められていて、そこではテーマとして農業・食・風力発電等が絡んでおり、社会の持続可能性を考えるという点から、環境資源探究と結びつけていけないといけない。SSH の発表でも理系的な研究で終わっている。データが出なかったところから学ぶのが探究である。

堀

環境資源探究でも、自分たちで考えてみた仮説に基づいて、データを集めてみたら違っていたというのも 1 つ大事な結果なのではないかと考えている。

大森氏

3 年生の自己評価のデータ、作文は大変素晴らしい成果物である。県内の高校に横展開していくべき。学校教育を通じて生徒が何をできるようになったかを示すモデルケースになる。学習成果とは生徒が自分の言葉で表現できる部分の成果であり、三国高校の 3 年生がこのように自分の成長を自分の言葉にしているという点で見本中の見本である。課題もないわけではなく、④の質問に「どのような成長が…」とあるが、スクールポリシーにある 4 つの目標に対して認識できているか分かるように、お題を設定してあげてもよかった。

大岡

ループリックについては、4 段階の評価に加えて、根拠も併せて書かせている。

大森氏

学習成果の可視化のプロセスとしては完成形である。自分のあり方、生き方を語っている。大学への出願の際、主体性について記述する部分があるが、三国高校の生徒は十分に語れる部分があるはずだ。

峠岡氏

本日の1年生の活動は楽しそうでよかった。ただ、楽しいで終わらず、この授業の目的は何だったのか、もう一度考える時間を作るべき。しくみとして、もう少しこういうことが伝えられたかも知れない、次に活かそうということを振り返ってほしい。2年生の活動については、生徒たちの提案を坂井市に予算を付けてもらい、高校全体で実践してはどうか。生徒も課題解決のために何かをやれたという経験を持って、成功失敗に関係なく次の探究につながる。さらに調べてみよう、知ろうということにつながる。考えることをトレーニングするしくみを作る。

嶋本

生徒がものごとに真摯に取り組む姿勢が見られる。3年生のアンケートの結果からも、かなり積極的に取り組んでいる生徒は活動から得られたものを自分のものになっている。

【各委員より総括の意見】

大森氏

3年間お疲れ様でした。現場と教室を往復して、町の課題を考えていく活動は生徒にとっても意味があったと思う。先程見せていただいたループリックも3年間の事業の中で出来上がり、3年生の文章を見ると成果が十分に出ているので、自信を持って発表して欲しい。活動内容も学年進行でやってきたが、内容によっては1～2年生の2年間のスパンで考えることも1つの手かと思う。

峠岡氏

3年間お疲れ様でした。今回の事業も地域とのつながりが強い三国だからできたし、やりやすかったと思う。他では作れない事業だった。今後、どこの高校でも探究が中心になっていくし、そこで得られる力は社会に出ても必要なスキルになる。1年生の良さ、2年生の良さを授業の組み立ての中でどういかにするか考える必要もある。学校の授業の時間をたっぷり使って考え方や行動力を身につけさせていってほしい。

松田氏

本当にお疲れ様でした。若手の先生方が学年の中で相談をしながらやっていったことが、成果にも表れている。校長先生を始め、様々な先生方の支援も大変だったと思う。県教委の支援がなかったら成り立たなかった事業である。坂井市の協力も大変貴重で、学校外の支援はなくてはならないものである。

浜田

地域のことで三国高校の教育に携われればという思いでやってきた。この事業を経験した生徒で県外に出て行った人が、何かのきっかけで三国や坂井市に戻ってくる際の戻りやすさにつながればと思っている。5～10年後に地域が変わっていることがこの事業の成果でないかと考えている。



6-3 地域協働プロジェクト推進室会議 I

- ① 日 時 令和4年5月6日
- ② 場 所 福井県立三国高等学校 会議室
- ③ 出席者 坂井市役所 総合政策部 企画情報課 齊藤 立海 氏
中出 陽介 氏
アーバンデザインセンター坂井 浜田 剛 氏
三国高校校長 富澤宏二 教頭 諸江克昭
事務局 嶋本克実 事務局 村 昭信
事務局 金崎 肇 事務局 堀 裕樹
事務局 大岡幹生 事務局 池越 広

④ 議題

- ・ R4年度の坂井市からの支援について

1. 坂井市より(齊藤氏)

高校卒業後に坂井市を離れ戻ってこない、地域のことを知らずに県外に出て行ってしまふ方たちがいることを考えると、坂井市として、今後地域に入ってくれる人材をどう作るか、地域の魅力を伝えられる人材を作ることが課題である。新市長も「ふるさと感じられる人材を作る」ことを言っており坂井市内の3高校を訪問して高校生と話をしたいと考えている。三国高校の地域協働の探究活動がそういう人材育成に寄与することを願い、市としても生徒が成長できる部分(活動)への援助ができればと考えている

2. 三国高校の探究活動に関していただいた助言・提案

(1) 1年生の空き家活用プロジェクトについて

- ・ 1年生の間は、机上での学習をメインにして、2年生で実践してはどうか。
- ・ 1クラス1軒の空き家では、30人が全員主体的に関われないので、活動を工夫してはどうか

(2) 2年生の坂井市への課題解決提言活動について

- ・ スタートのレベルは高かったが、発表に向けての準備が十分ではなかった。アイデアだけで終わってしまい、本当に地域のところで解決が可能なのが吟味されていなかった。市の職員だけでなく地域の方に話を聞き生の声が反映されていなかったように思われる。
- ・ 発表のリハーサルはオンラインの接続面も含め、十分にやっておくと良かった。

(3) その他

- ・ 三国町内には有効に活用できる文化資源(自然・歴史等)が豊富であり、部活動では海でヨット部が活動し、近くに球場がある野球部もあり、陸上競技場で陸上部の活動ができ、吹奏楽も地域に出て精力的に活動している。三国高校に来ないとできないこと(魅力)を考え、それを特色として打ち出してはどうか。
- ・ 丸岡高校、敦賀高校、若狭高校等が行っている地域貢献の活動で、高校生が自分たちで考えたアイデアを実践し地域に貢献しようと頑張っている。三国高校で三国町外からの生徒が多いのであればえちぜん鉄道の沿線で魅力を見つけるなど、生徒さんが主体的

に地域との関われる活動を考えていければ、市としてもバックアップが可能である。

6-4 地域協働プロジェクト推進室会議Ⅱ

- ① 日 時 令和4年10月25日
- ② 場 所 福井県立三国高等学校 会議室
- ③ 出席者 三国高校校長 富澤宏二 教頭 諸江克昭
事務局 嶋本克実 事務局 村 昭信
事務局 金崎 肇 事務局 堀 裕樹
事務局 大岡幹生 事務局 池越 広

④ 議題

- ・ R5年度入学生の総合的な探究の時間の計画について
- ・ R5年度の学校設定科目の変更点、時間割について

6-5 地域協働プロジェクト推進室会議Ⅲ

- ① 日 時 令和4年11月29日
- ② 場 所 福井県立三国高等学校 会議室
- ③ 出席者 三国高校校長 富澤宏二 教頭 諸江克昭
事務局 嶋本克実 事務局 村 昭信
事務局 金崎 肇 事務局 堀 裕樹
事務局 大岡幹生 事務局 池越 広

④ 議題

- ・ R5年度の総合的な探究の時間について（1年生の年間計画について）
- ・ R5年度の学校設定科目について（名称の変更について）
- ・ R5年度の予算について

6-6 地域協働プロジェクト推進室会議Ⅳ

- ① 日 時 令和5年2月10日
- ② 場 所 福井県立三国高等学校 会議室
- ③ 出席者 三国高校校長 富澤宏二
事務局 嶋本克実 事務局 村 昭信
事務局 金崎 肇 事務局 堀 裕樹
事務局 大岡幹生 事務局 池越 広

④ 議題

- ・ R5年度の総合的な探究の時間について（1年生の年間計画について）
- ・ R5年度の学校設定科目について（担当者・持ち方・時間割）
- ・ R5年度の推進室に代わる新たな組織について

令和4年度 福井県立三国高等学校スクール・ポリシー

スクール・ミッション【使命】

「紺碧の日本海と北前船の聖地三国。豊かな自然と歴史文化が息づく町。」古くから地域とともにある学校として、坂井市の協力を得ながら、豊かな文化・環境資源を活用したプロジェクト学習の実践を通して、生徒や保護者が希望する進路を実現し、地域社会に幸せや希望をもたらすことのできる人材を育成する。

校訓

「心高かれ」

教育目標

「高い志を持って自律的に行動し、地域や社会の発展に貢献できる人を育成する。」

グラデュエーション・ポリシー【育てたい生徒像】

「心高かれ」という校訓のもと、高い志を持って自律的に行動し、次の4つの力を身につけ、地域や社会の発展に貢献できる人を育成する。

- 【究める力】自ら問いを立て、課題に対する答えを見つけ出す
- 【挑む力】様々な出来事や困難に勇気と信念を持って立ち向かう
- 【結ぶ力】多様な人たちと協力しながら、自分の役割を果たす
- 【愛する力】ふるさとへの愛着や周囲の人々への敬愛の念を持って行動できる

4つの力を身に付けるため、教科横断的学習を通して、幅広い分野の知識・視点を身に付けるとともに、地域と連携・協働しながら三国の文化やまちづくりについて学ぶ地域探究学習を深め、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む。

カリキュラム・ポリシー【特色ある教育課程】

- 学校教育目標に掲げる人材を育成するために、必修教科科目、選択科目はもとより、専門教科・科目および学校設定教科・科目をコースの特徴に応じて編成する。
- 生徒の多様な能力・適性・進路等に対応し、資質・能力を総合的にバランスよく育んでいくと共に、多様な進路に応じたキャリア形成支援のための講義、演習、実習等を適切に組み合わせた授業を開講する。
- I 系列は文理混合の発展クラスとし、大学入学共通テストに対応した文系系系それぞれの幅広い教養を身に付ける教育課程を編成する。II 系列では、2年次以降、選択科目の幅を広げ、芸術科目の継続履修および「家庭」「体育」の専門科目である「フードデザイン」や「スポーツII」などの履修を可能とし、多様な進路希望に対応できる教育課程を編成する。
- 2・3年次に学校設定教科(「三国地域学」)・科目(「三国の文化資源探究」「三国の環境資源探究」)を含む各教科・科目、さらには特別活動や課外活動の各場面で「探究」の視点を導入する。地域を題材にした総合的な探究を広く学習の機会と捉え、福井大学やアーバンデザインセンター坂井など、地域の研究機関等の支援を受け、実践する。

アドミッション・ポリシー【入学時に期待される生徒像】

- (1) 教科や地域探究活動、部活動等に主体的に取り組もうとする生徒
- (2) 他者と協力して、様々な出来事に取り組もうとする生徒
- (3) 地域社会に興味を持ち、地域社会をよくしようと考えている生徒

令和4年度 福井県立三国高等学校スクールプラン

業務改善のための取組

- ・時間外在校等時間が月80時間を超える教職員をゼロにするとともに、職員の平均年休取得日数を年間10日以上を目指す。
- ・毎週水曜日のノー残業デー、放課後活動定休日および長期休業中の学校休業日を積極的に活用し多忙化解消に努める。
- ・ICTの活用などを通して、業務の見直し・精選・削減の取り組みを前年より進めた職員80%以上を目指す。

人権教育の推進

- ・自尊感情、共感能力、想像力、人間関係調整力等を備え、自分の良さとともに他者の良さを認めることのできる生徒を、すべての教育活動を通して育む。

重点目標

(共通項目) 1 教育課程・学習支援	(共通項目) 2 進路支援	(共通項目) 3 生徒支援	(独自項目) 4 地域との協働	(独自項目) 5 安心安全な学校	(独自項目) 6 積極的な広報活動の実施
<p>生徒の興味・関心を引き出す授業を展開し、自ら学ぶ姿勢を育むことを支援するとともに、基礎学力の定着を支援する。</p>	<p>生徒が、将来に対する目的意識を持ち、自らの進路を適切に選択する能力・態度を身に付けることができるように支援する。</p>	<p>生徒がやりがいや目的意識を持って充実した学校生活を送ることができるように支援する。</p>	<p>地域にとともにある学校として、校外の人材や関係機関と連携して各種活動を推進する。</p>	<p>生徒が心身ともに健康で、安心・安全に学校生活を送ることができるような環境づくりを進める。</p>	<p>オープンスクール・学校説明会・HP・SNS等の情報発信等を積極的に実施する。</p>
<p>具体的取組 授業改善やICT教材の活用をとおして、生徒の興味・関心を引き出す授業づくりを行う。</p> <p>目標： ・授業改善に向けた取り組み状況80%以上 ・ICT機器の活用状況80%以上</p>	<p>具体的取組 a 生徒が、自己の志望する進路について関心を高めることができるように支援する。 目標：進路意識の高まった生徒の割合80%以上 b 生徒が、自己の進路実現に必要な実力を高めることができるように支援する。 目標：進路志望の実現に向けて意欲的に取り組む生徒の割合80%以上</p>	<p>具体的取組 生徒が学校行事・生徒会活動・部活動・ボランティア活動等に主体的に取り組むことによって、学校生活への充実感や自己肯定感を育成する。 目標：学校行事・生徒会活動・部活動・ボランティア活動等に主体的に取り組む生徒の割合80%以上</p>	<p>具体的取組 地域人材と協働して行う『地域協働プロジェクト』を軸に探究学習を推進する。</p> <p>目標： 『地域協働プロジェクト』に関わる生徒90%以上</p>	<p>具体的取組 a. 保健情報の発信や「こころのアンケート」の実施等を通して、生徒の心身の健康を保つことに努め、問題の把握と早期対応を進める。 目標：健康維持の取り組み状況80%以上 b. 清掃等の美化活動を通して、環境整備に主体的に取り組もうとする生徒の意識と態度を育てる。 目標：環境美化の取り組み状況80%以上</p>	<p>具体的取組 オープンスクール・学校説明会・HP・SNS等とおして、小中学生・保護者・地域へ積極的に情報発信を行う。 目標：オープンスクールや学校説明会の参加満足度80%以上 教職員の積極的な情報発信や広報活動の取り組み状況90%以上</p>



三高NEWS

No.1
2022年5月13日発行

福井県立三国高等学校を紹介する「三高NEWS」です。これから情報発信していきますので、よろしくお願いします。3・4月の学校生活の様子をお知らせします。

三国高校の情報は学校のホームページでもご覧いただけます。



校舎2号館東側リノベーション完了

2022. 4. 1

昨年秋から実施していた校舎2号館東側のリノベーションが完了し、きれいな校舎となって生まれ変わりました。こちらには物理室、化学室、生物室、地学室の理科教室の他、進路支援室、中会議室、自習室があります。また、トイレも自動水栓が設置され、とても使いやすくきれいになっています。校舎は県産材を使ったぬくもりのあるつくりとなっており、快適に学校生活を過ごせる環境が整いました。これから大切に使用していきたいと思えます。



2号館外観



トイレ洗面所



階段



化学室



生物室



進路支援室

「三国の環境資源探究」発電所見学会

2022. 4. 20

三国高校では地域に関する探究学習を進めています。本校独自の学校設定教科「三国地域学」の「三国の環境資源探究」で、4月20日(水)に3年生6人が三国太陽光発電所と三国風力発電所を見学しました。太陽光発電所では多数の太陽光パネル、風力発電所では巨大な風車に驚きました。峯森大輔氏(北陸電力株式会社)から詳しく丁寧な説明を受け、これまで知らなかったことをいろいろと学ぶことができました。普通では見学できない三国風力発電所の風車を間近で見学できたことはとても印象的でした。



三国風力発電所を見学

三高 J A Z Z 2022 2022. 3. 25

春休み初日の3月25日(金)ハートピア春江にて、三国高校吹奏楽部の第41回定期演奏会「三高 JAZZ 2022」が開催されました。「ジャズで届ける、みくにの音。」をテーマにJAZZ LIVEに挑戦しました。スペシャルゲストの白井淳夫氏(サクソフォン)、高浜和英氏(ピアノ)とともに、「感動のある音楽を！」を満員のお客様にお届けすることができ、部員一同感謝感激でした。たくさんの応援ありがとうございました。



満員御礼

是非ご覧ください



高校生“グルメ to go”コンテストでグランプリ受賞 2022. 3. 19

3月19日(土)坂井市のたけくらべ広場で開催された「高校生“グルメ to go”コンテスト」に三国高校の2チームが参加しました。15分の持ち時間で地元の食材を活用したテイクアウトメニューをコンテナキッチンで調理し、コンセプト、味、見栄え、採算性などをプレゼンしました。地域探究同好会のメンバーで結成されたチーム「ユニコ」が見事にグランプリを受賞しました。

受賞したメニューは「ふぁんたすていっく」で甘エビの殻の粉末と細かく刻んだ花らきょをそれぞれホワイトソースに混ぜ、2種類のスティック春巻きにしたものです。そのスティック春巻きは、竹田文化共栄会が4月の「しだれ桜まつり」から5月末まで期間限定で提供予定です。



グランプリを受賞したチーム「ユニコ」



スティック春巻き



三高NEWS

No.2
2022年6月10日発行

福井県立三国高等学校を紹介する「三高NEWS」第2号をお届けします。今回は2年振りに開催された三国祭を始め、5・6月の学校生活の様子をお知らせします。

三国高校の情報は学校のホームページでもご覧いただけます。



三国祭ボランティアで大活躍

2022. 5. 20

5月20日(金)三国祭2日目に、生徒54人がボランティアとして三国祭で活動しました。それぞれの担当(山車の曳き手、駅前・広小路・神社前・はっぴでハッピー会場等での活動、祭の様子の写真撮影)で、早朝から夕方遅くまで活動しました。山車の曳き手を始めとして、「えちぜん鉄道三国駅」では酒まんじゅうを配ったり、「まちなかサロン」では法被(はっぴ)を着ての写真を撮影したりして、三国祭の盛り上げに一役買いました。天気に恵まれ、生徒たちは行き交うお客さんと触れ合いながら、3年ぶりの開催となった三国祭の賑わいを楽しんでいました。三国高校はボランティア活動を通して地域に貢献しています。



吹奏楽部 三国港朝市 LIVE 2022.6.5

6月5日(日)に吹奏楽部が2回目の三国港朝市ライブを行いました。三国港朝市は今年4月から毎週日曜日に開催されており、三国の新名物であります。9時からと10時からの2ステージで、延べ10曲演奏しました。たくさんのご来場ありがとうございました。これからも三国港朝市ライブを始めとした地域での演奏を頑張ります。次回は7月17日(日)に行う予定です。

※三国港朝市

【日時】令和4年4月17日(日)以降の毎週日曜日7時30分～11時30分

【場所】三国港市場(坂井市三国町宿一丁目17番33号)

【内容】新鮮な水産物をはじめ様々な出店者が並ぶ朝市で、安価で安心な坂井市産材を使った朝食を楽しむ。



当日の動画です。
是非ご覧ください。



宝島



君の瞳に恋してる



進路ガイダンス 2022.5.14

5月14日(土)に、進路ガイダンス①を開催しました。1年生は、高校3年間の過ごし方について、高校生活をより充実させるための「学び方」についての講演を聴きました。また2年生は、大学や短大での学習内容を聞き、進学意欲を高めることができました。3年生は、進路選択に応じて、大学・短大進学講演会や専門学校講師による個別説明会、本校教員による就職説明会に参加し、それぞれの進路実現に向けて必要なことを学ぶことができました。





三高NEWS

No.3
2022年7月15日発行

福井県立三国高等学校を紹介する「三高NEWS」第3号をお届けします。1年生の三國湊まちあるき、エッセル坂の花壇植替えボランティア、1年生からのメッセージをお知らせします。

三国高校の情報は学校のホームページでもご覧いただけます。



1年生 三國湊まちあるき 2022.6.7

6月7日(火)「総合的な探究の時間」に、1年生が三国の町並みを歩きました。旧森田銀行周辺の空き家をうまく活用した物件が多い地域、三国神社方面の空き家の活用ができていない地域、細い路地など普段生徒が通らないような地域を巡りました。また、UDCS（アーバンデザインセンター坂井）、マチノクラ、みくにの家、兼田家では、UDCSのスタッフの方や地域の方から直接お話を聞くことができました。本校同窓会会長・三國會所の大和久米登さんも説明してくださいました。今回の活動を通して発見した三国の魅力や課題を今後の地域探究活動につなげていきたいと思ひます。



エッセル坂の花壇植替えボランティア 2022.6.12

6月12日(日)エッセル坂の花壇の植え替えボランティアを実施しました。休日のボランティアでしたが、1年生から3年生までの30人の生徒が参加し、地域を彩る花壇を美しく整えることができました。この活動はNPO法人「三国まちなかエッセル」との共働事業として20年以上にわたって続いています。今後とも地域の縁を大切に活動していきたいと思ひます。



高校1年生からのメッセージ

三国中学校

私が所属する男子バスケットボール部は選手6人マネージャー2人で活動しています。人数が少ないためできる練習は限られていますが、試合に出場する機会があります。先輩たちも優しく接してくれて、毎日の活動が充実しています。【島野 稜太】

女子バレーボール部に所属しています。県春季高校総体では、自分の思ったとおりのプレーをすることができませんでした。そのため、この後の県民スポーツ祭や新人大会では、自分の納得のいくようなプレーができるように練習に励んでいきたいです。

【京信 あかり】

茶道部に所属していて、水曜日の放課後に活動しています。講師の先生から丁寧に作法を教えていただいているので、茶道を楽しんでいます。7月の学生茶会に向けてこれまで以上に練習して茶道の作法を上達したいと思います。【森 郁嘉】

私は卓球部に所属していて週5日間活動しています。私も含めて1年生3人は卓球初心者のため、顧問の先生には基礎から教えてもらっています。現在新人大会にむけて、みんなで協力して卓球の技術を磨いています。【坂尾 颯太】

私は野球部に所属しています。3年生にとっては最後の大会にむけて部員一丸となって日々練習しています。この大会に出場できる機会は少ないですが、新人大会にはレギュラーとして出場できるように練習していきたいです。【赤土 太陽】



坂井中学校

私はヨット部に所属しています。福井県内のヨット部は少く、簡単に経験できる競技ではないので、ヨット部で活動できることは貴重な経験です。勉強と部活動の両立は大変ですが、両立にむけて全力で取り組んでいきます。【高橋 輝】

女子バレーボール部に所属しています。最初は高校生活に不安があったけれど、素敵なチームメイトに巡り会えたことで毎日楽しく過ごせています。チームの勝利に貢献できるようにバレーボールの技術を伸ばしていきたいです。

【高橋 奈桜】

吹奏楽部でフルートを担当し、コンクールにむけて練習に励んでいます。先輩たちはとてもやさしく教えてください、部員全員が協力してがんばっています。高校では新しいことが増え、挑戦することができてとても楽しいです。【江端 心美】



高校1年生からのメッセージ

春江中学校

吹奏楽部でアルトサックスを担当しています。毎月三国港朝市でライブを行っています。昨年に引き続き北陸コンクールを1位で通過して東日本吹奏楽コンクール出場を目指してがんばっていきたいです。【四ツ木 裕美】

吹奏楽部でホルンを担当しています。道の駅三国などの地域のイベントにも積極的に参加しています。毎日とても充実しています。10月の東日本吹奏楽コンクールの金賞を目標に日々活動に励んでいます。【山田 心音】

私が所属する吹奏楽部は、顧問の武井先生のもとで東日本大会金賞を目標に日々練習に励んでいます。また、コンクールだけでなく地域との関わりも深く演奏会の機会も多く、仲間とともに充実した毎日を送ることができています。【渡邊 謙信】



私は、ヨット部に所属していて三国のヨットハーバーで活動しています。ヨットを乗りこなすのは難しいですが、風によって操作できたときはとても気持ちがよいです。学校生活のなかでヨットを楽しめるのはとてもよい経験となっています。【本村 仁】

芦原中学校

ソフトテニス部に所属していて、テニスコートで楽しみながら活動しています。県春季高校総体では個人戦に出場することができましたが、試合は負けてしまいました。新人大会に向けて日々の練習や練習試合で技術を向上させていきたいです。【清水 煌介】



私は総合的な探究の時間の「三国の町歩き」で、地域の人々と交流しながら三国の良さをたくさん知ることができました。教科の学習では確認テストで理解していないところを確認できます。わからないところは先生方が丁寧に教えてくれます。【津田 花音】

三国高校の「地域探究同好会」は、地域に出て行って地域に貢献する活動を行っています。現在同好会のみんなと三国にある空き家を減らそうとするイベントを企画しています。この活動はとても楽しいです。【石黒 虎愛】



金津中学校

私は地域探究同好会に入りながら、小学校2年生から通っているクラブ活動にも参加しています。学習にもしっかり取り組むことができています。先生方や先輩は優しく親しみやすいため、毎日の学校生活が楽しいです。【山田 千代】

総合的な探究の時間の「三国の町歩き」で、今まで知らなかった三国のことを知ることができました。空き家が多いので、空き家の活用について、地域の人々と一緒に考え、さらに交流を深めていきたいです。【城戸 莓花】



三高NEWS

No.4
2022年8月19日発行

福井県立三国高等学校を紹介する「三高NEWS」第4号をお届けします。今回はオープンスクール・進学ガイダンス・部活動の活躍の7月の学校生活の様子をお知らせします。

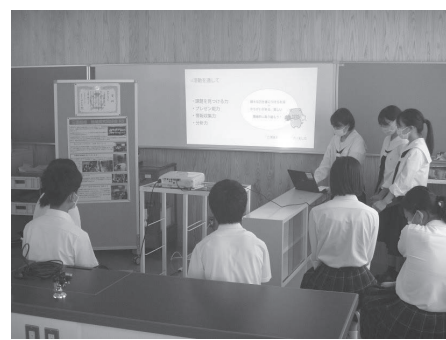
三国高校の情報は学校のホームページでもご覧いただけます。



三国高校オープンスクール 2022.7.29

7月29日(金)9:00~12:00に開催された三国高校オープンスクールに多数の中学生や保護者の皆様に参加されました。全体説明会、グループに分かれての座談会・校内案内・進学指導説明、琴部や吹奏楽部の演奏、部活動体験・見学が行われました。今回は生徒のオープンスクール実行委員会を中心に企画・運営を行いました。参加していただいた方は、三高生視点の三国高校を体験し、その魅力に気付いていただけたと思います。

オープンスクールご参加ありがとうございました。



全日本吹奏楽コンクール県大会 吹奏楽部 金賞県代表 2022.7.22

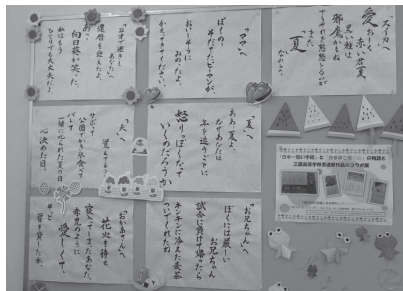
7月22日(金)に県立音楽堂ハーモニーホールふくいで全日本吹奏楽コンクール福井県大会が開催されました。吹奏楽部が金賞を受賞し、8月12日(金)に金沢歌劇座で開催される北陸吹奏楽コンクールに福井県代表として出場することが決定しました。

たくさんの応援ありがとうございました。



書道部 三国郵便局コラボ展 2022. 7. 25

7月25日(月)～8月10日(水)の間、三国郵便局にて、「日本一短い手紙」にゆかりのある「かまぼこ板の絵」の物語と三国高校書道部作品のコラボ展が開かれました。書道部は、「夏」をテーマとした一筆啓上作品を揮毫しました。三国郵便局の訪れた人たちが、書道部の作品を鑑賞し感動していました。



県民スポーツ祭 ソフトボール部準優勝！ 2022. 7. 24

7月23日(土)・24日(日)に、鯖江市御幸公園グラウンドで開催された県民スポーツ祭ソフトボール競技高校の部において、ソフトボール部が準優勝に輝きました。初戦の敦賀気比高校には春季総体の時の雪辱を果たし、次いで福井商業高校を下し、決勝で啓新高校と対戦しました。はじめ0-5とリードされていましたが、西田美海選手のツーベースと上山春菜選手のホームランなどで4-5の1点差にまで迫る好試合を繰り広げました。優勝した啓新高校にはあと一歩及びみせんでしたが、見事準優勝でした。3年生はこれで引退ですが、1・2年生がこれに続き、新人戦でのさらなる活躍を期待します。

たくさんの応援ありがとうございました。



進路ガイダンス② 2022. 7. 11

7月11日(月)に、進路ガイダンス②が行われました。2年生全員と3年生の希望生徒を対象に大学の模擬授業、専門学校や就職担当講師からの説明を受けました。生徒は12講座に分かれて興味のある学問分野の授業を受けたり、専門学校や就職に関して詳しい話を聞いたりして、進路についてより具体的に考えることが出来ました。



分野	テーマ
工学	材料力学と強度
教育学	坂井平野の歴史地理
看護学	看護とは
経済学	戦後の貿易の国際ルール
生物資源学	染色体研究で世界で1つだけの花を創る
経営情報学	「ブルーオーシャン戦略」新たな市場の創造
スポーツ学	運動トレーニングの強度設定
コミュニケーション学	賢くお金を使おう
理学療法学	理学療法士とは
幼児教育学	保育者は子供のどこを見ているのか
専門学校	専門学校に関する総合説明
就職	就職に関する総合説明



三高NEWS

No.5
2022年9月16日発行

福井県立三国高等学校を紹介する「三高NEWS」第5号をお届けします。今回は三国高校学校祭・ふくい高校生県議会・全国大会出場部活動の活躍など8月の学校生活の様子をお知らせします。

三国高校の情報は学校のホームページでもご覧いただけます。



三国高校学校祭 第1日目 文化祭 2022.8.31

今年の学校祭のテーマは「Ballare(バラレー)」です。Ballare はイタリア語で「踊る」という意味で、学校中の生徒が思わず踊り出してしまうようなライブ感と盛り上がりのある楽しい学校祭となりました。学校祭第1日目は文化祭です。午前は三国体育館で、各色のPR動画の披露や琴部・吹奏楽部・書道部の発表がありました。午後は学校で文化部等の展示見学・模擬店販売・各色アトラクションなどを楽しみました。また、生徒会執行部の企画も大いに盛り上がりました。



三国高校学校祭 第2日目 体育祭 2022.9.2

雨天で1日順延になった学校祭第2日目は体育祭です。天候を気にしながら、応援合戦・衣装・デコ（つくりもの）の発表、競技を行いました。競技は内容を一部変更して、リレー・綱引き・タイヤ取り・移動玉入れ等を行いました。特に最後の種目の色別対抗リレーは大いに盛り上がりました。

学校祭の資材を提供して下さった皆様ありがとうございました。



学校祭 総合優勝：青組 準優勝：黄組 2022. 9. 2

学校祭の総合優勝は青組、準優勝は黄組でした。各色のテーマのもと準備・本番・後始末としっかりすることができて、今年も記憶に残るすばらしい学校祭となりました。

色	青組	赤組	黄組	黒組
テーマ	Blue Magic ～12時までなんて言わせない～	達磨 ～派手に舞い踊れ～	ウル虎マン	群狼 ～吠えろ満月の夜に～
クラス	3年1組 2年4組 1年1組	3年2組 2年1組 1年4組	3年4組 2年2組 1年2組	3年3組 2年3組 1年3組

ふくい高校生県議会 2022. 8. 4

8月4日(木)に高校生が県会の議事運営を体験する「ふくい高校生県議会」が開かれました。三国高校からは3名が参加しました。少子化問題に取り組み、「出会いと結婚応援」をする施策をテーマに、「ふくい婚活サポートセンター」のマッチングシステムの登録無料化、チャット機能の追加など若者が利用しやすくするよう要望しました。また、自然な出会いの場として、複数の学年が参加できる同窓会の開催に対する支援なども県への提言に盛り込みました。県議会で議員がどのような活動をし、県の施策がどのように議論されているかなどを実体験し、政治に対して今までより関心を持つことができましたと思います。



全国大会に出場【写真部】【書道部】【柔道部】【ヨット部】

【写真部】 8月2日(火)～4日(木)に東京都立産業貿易センターで開催された第46回全国高等学校総合文化祭東京大会写真部門に、中野太耀さん(3年)と圓道凜奈さん(3年)の2名が福井県代表として参加しました。講演会や交流会ではとても有意義な経験をすることができました。



【書道部】 8月2日(火)～3日(水)にかつしかシンフォニーヒルズ、東京都美術館で開催された第46回全国高等学校総合文化祭書道部門に塚本英子さん(3年)が福井県代表として参加しました。講評会や交流会では全国の高校生と知り合うことができました。



【柔道部】 8月10日(水)に愛媛県武道館(松山市)で開催された令和4年度全国高等学校総合体育大会柔道競技大会に大久保夏梨さん(2年)が参加しました。

【ヨット部】 8月12日(金)～16日(火)に和歌山セーリングセンター(和歌山県)で令和4年度全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会が開催されました。女子420級に古市来海さん(3年)・山本悠月さん(3年)組、女子レーザーラジアル級に西坂日和さん(3年)が参加し、それぞれ25位、21位となりました。





三高NEWS

No.6
2022年10月17日発行

福井県立三国高等学校を紹介する「三高NEWS」第6号をお届けします。吹奏楽部の定期演奏会を始め、9月の学校生活の様子をお知らせします。

三国高校の情報は学校のホームページでもご覧いただけます。



吹奏楽部 第42回定期演奏会

2022.9.17

9月17日(土)に、ハートピア春江で吹奏楽部第42回定期演奏会が開催されました。ゲストに三国町出身の指揮者小松長生氏をお迎えし、コンクール自由曲の「ドラゴンの年」をはじめ、クラシックからジャズまで15曲を演奏しました。会場いっぱいのお客様に私たちの音楽をお届けすることができ、嬉しさと感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。中学生の皆さん、三国高校で充実した吹奏楽活動と一緒に楽しみませんか。三国高校はたくさんの中学生のご入学をお待ちしています。



MIKUNI_JAZZ_AND_WIND_ORCHESTRA



P T Aひと声かけ挨拶運動

2022.9.9

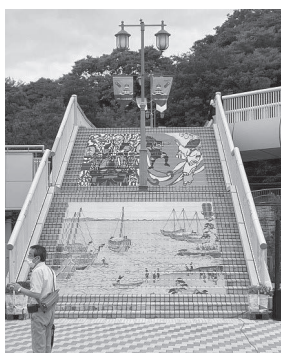
9月9日(金)に、「PTAひと声かけ挨拶運動」が行われました。7年目をむかえるこの運動は、PTA役員会の発案で、“生徒の皆さんに2学期を元気よく活動して欲しい”という気持ちをこめ、夏休みが明け学校祭が終わったこの時期に、気持ちの切り替えの意味もふまえて行おうと始められました。本年も、PTA役員の皆さんが朝の登校時間に合わせ、「始まりは挨拶と笑顔から」のメッセージを書いた横断幕を持って、登校する生徒一人ひとりに気持ちをこめて声をかけました。



三国駅前広場完成記念式典

2022. 9. 19

9月19日(月・祝)に、えちぜん鉄道三国駅前広場が完成したので、記念式典が開催されました。駅横からエッセル坂につながる階段の絵は、安藤広重描く「三國湊」に加え、三国高校と三国中学校の美術部生徒が「帯のまち流し」「三国祭」の原画を制作しました。式典のあと三国高校と三国中学校の吹奏楽部による合同バンドが演奏を披露しました。また、昨秋の「三国高校現代刺子展」で展示した大きなタペストリーが三国駅構内に展示されています。大きな作品は、駅舎の中でも圧倒的な存在感を放っています。来年3月まで展示予定です。



令和4年度三国高校説明会(保護者対象)

日時: 令和4年11月5日(土) 14:00~

場所: 福井県立三国高等学校 緑陵会館

詳細はホームページをご覧ください。

2年 三国の文化資源探究 講演会

2022. 9. 9



9月9日(金)6時間目に、2年Ⅱ系列文系の学校設定科目「三国の文化資源探究」の授業で、福井県生涯学習文化財課の今出瑞穂氏をお迎えし、「三国を語る文化財建造物」について講演をしていただきました。今出さんご自身、県内の文化財の中でも瀧谷寺が大好きということで、三国に親しみを持ってお話しされました。生徒たちが今後訪問する予定の瀧谷寺、三国港突堤、大湊神社、旧森田銀行などについて見どころなどを丁寧に説明され、文化財を見る際の視点や心がけについても教えていただきました。

秋季壮行会(国体出場)

2022. 9. 15

9月15日(木)7時間目に、第77回国民体育大会とちぎ国体に出場する選手の壮行会が行われました。

出場する選手は、以下の通り

です。

【ソフトボール部】

福井県選抜チームのメンバーとして 矢野桃子さん

【ヨット部】

男子420級 城戸雄飛さん、井上頼人さん

女子420級 古市来海さん、山本悠月さん

女子レーザーラジアル級 西坂日和さん

最後に生徒会長からの激励の言葉もありました。

ぜひ応援をお願いします。

